

関係者各位

平成29年8月11日
宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類を死亡させる恐れのあるカレニア ミキモトイが最大77.8細胞/ml(香川県の場合、注意報:10細胞/mL、警報:500細胞/mL)、確認されました。今後の状況によっては細胞数の増加の可能性も考えられるため、引き続き海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう注意をお願いいたします。

また、ヘテロシグマ アカシオが最大で8.1細胞/ml確認されました。

貝毒プランクトンについては、アレキサンドリウム属が最大で0.1細胞/ml確認されました。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※本日の調査は海水100mlを1mlに濃縮しての検鏡を実施しています。

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	アレキサンドリウム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)			
ヒロウラ (別図①) 採水時間 8:50 透明度 -m	2.0	28.2	33.6	6.1	0	1.2	0
宿毛湾中央① 採水時間 9:04 透明度 -m	2.0	28.1	33.7	6.8	0.03	0.5	0.1
	4.0	27.9	33.9	6.8	0	2.4	0
宿毛湾中央② 採水時間 9:09 透明度 -m	5.0	27.3	34.0	5.8	0.01	2	0
大海 採水時間 9:18 透明度 -m	4.0	27.9	33.8	6.0	0.01	1.3	0
栄喜 (別図②) 採水時間 9:23 透明度 -m	4.0	27.9	33.8	6.0	0	1.2	0